

# 先端技術実装・空間情報データ連携基盤実証実験（羽田第1ゾーンスマートシティ推進協議会）

## ■都市課題

テストベッドとしてのスマートシティ形成による「持続可能都市おおた」の実現

- ①交通弱者支援：交通弱者の移動手段確保
- ②人手不足：生産人口減少、担い手不足
- ③観光推進：「おおたのモノづくり」の観光資源化、地域づくりによる賑わい創出

## ■解決方策

(1)先端技術の実装

- ①モビリティ：先端モビリティ導入
- ②ロボティクス：施設管理へのロボット導入
- ③ツーリズム：遠隔観光体験

(2)空間情報データ連携基盤の活用

- ①人流可視化、モビリティ・ロボット統合管理

## ■KPI

①自動運転モビリティ導入種別

1種(R2)⇒3種(R7)

②ロボット導入数・代替業務数

3種・1業務(R2)⇒10種・10業務(R7)

③観光サービス利用者数・来街者数

約1千人/日(R2)⇒約7千人/日(R7)

## ■実証実験の概要・目的

(1)先端技術の実装：モビリティ・ロボティクス・ツーリズムの3分野に係る先端技術導入実証を通じて、施設ハード・ソフトの課題抽出、業務時間短縮効果測定、来街者アンケートを通じた社会受容性把握、区内横展開に向けた示唆を行うことで、先端技術の早期実装を目指す。

(2)空間情報データ連携基盤の活用：人流可視化やモビリティ・ロボット一元管理によるデータ活用によるエリマネの最適化や管理業務効率化を目指す。

## ■実証実験の内容

### (1)先端技術の導入実証



**スマートモビリティ**



- ・自動運転バス
- ・自動運転低速電動カート
- ・自動運転パーソナルモビリティ



**スマートロボティクス**



- ・ロボットによる遠隔警備
- ・ロボット構内物流業務
- ・異種ロボット制御



**スマートツーリズム**



- ・アバターロボットによる遠隔観光

リアルタイム情報可視化 ←→ 制御

### (2)空間情報データ連携基盤の活用実証



データ収集



データ蓄積



データ可視化



ヒートマップ表示



軌跡表示

- ・エリマネ施策検討に向けた人流可視化
- ・管理効率化に向けたロボット統合管理

## ■実証実験で得られた成果・知見

### (1)先端技術の導入実証

スマートモビリティ	・域内周遊モビリティ導入により来街者回遊性向上に効果 ・利用者96%が区域外導入を期待するニーズを把握
スマートロボティクス	・38種実証導入。自動ドア・EV等の施設環境整備が課題 ・ロボット導入により、構内配送業務時間が50%低減
スマートツーリズム	・アバターロボットを活用した遠隔観光体験では、利用者の93%に来訪意欲創出の効果を確認

### (2)空間情報データ連携基盤の活用実証

人流可視化	・ヒートマップや軌跡分析によりエリマネ施策評価に効果的
統合管理	・ロボット・モビリティの統合管理により施設管理効率化に寄与

## ■今後の予定

- ・自動運転バスの公道走行やLv4に向けた実証
- ・自動運転モビリティやロボットの縦移動実現に向けたEV連携実証実験の実施
- ・ロボット関連サービスのローンチに向けた費用対効果向上に向けた検証(PoC)の実施
- ・空間情報データ連携基盤の外部団体利活用による経済波及効果を目的としたデータ公開検討

